

豊岡市教育研修センターだより

豊岡市教育委員会 R5(2023).2.28
豊岡市のホームページにもアップしています

No.9



豊岡市小中一貫教育 ここを押さえて！

豊岡市小中一貫教育
推進協議会より

ふるさと教育

次のような成果(◎)と改善策(☆)を共有しました。

コミュ教育

- ◎ 体験活動を通して、地域の豊かさや課題を自分ごととして考えている。
- ☆ 各校区の地域教材を再度見直し、地域との関連を強化しながら実践しましょう。

- ◎ 小学校での取組を礎に、さらに中学校で自分の考えを広げたり深めたりしている。
- ☆ カリキュラムを見直し、各教科や行事等と関連させならコミュ能力を高めましょう。

英語教育

- ◎ A L Tと直接会話をしたりして授業を楽しむ児童生徒が多くいる。
- ☆ 英語の授業以外で英語を活用する環境を意図的に作りましょう。

学習指導と生活指導

- ◎ 中学校進学に向けて「不安やとまどいが特にない」という児童生徒が倍増している。
- ☆ 各ブロックの実態に応じて、地域とのつながりを意識した取組を取り入れましょう。

地域と つながる ポイント

- ◎ 子どもたちは、日常生活や地域、社会に目を向けて課題を発見していますか？
- ◎ 子どもたちの学びは、多様な地域とつながっていますか？
(多様な地域…住んでいる地域、校区、豊岡市、兵庫県、日本、世界等、様々)
- ◎ あなた(教員)は、子どもと地域の「ひと、もの、こと」をつないでいますか？(教室外とつなぐコーディネーターとしての役割も求められています)

佐藤先生の
講義より

ポストコロナに向けて、体験的な学び、協働的な学びの充実に向けて準備を!!

授業における5つの
「徹底・継続」実践事項の
質を高める③

ペア、グループによる学びが 形式化していませんか？

豊岡市初任者
研修より

「発問 ⇒ 個の考え ⇒ ペア・グループによる話し合い
⇒ 全体での発表」の流れでいいの？

私は、よくしていました。

まず、全体に発問をして、子どもに考えを持たせます。
いきなり全体場で発表しにくいから、ペアやグループで交流してから全体場で発表させていました。
(発表させることが目的なら、この流れもいいかも…)

この間に、考えが深まってくと思いきや、多数派の意見に集約されたり、大切にしたい「間違い」や「わからなさ」が解決されることなくいつの間にか消えたりしました。

「発問 ⇒ 個の考え ⇒ 全体での交流① ⇒ 【焦点化した発問】 ⇒ ペア・グループによる話し合い
⇒ 全体での交流② ⇒ 個の考え」の流れは？

子ども一人一人の考え深めたいなら、こんな方法も…。

全体交流①で、子どもたちから出された考えや疑問をもとに「子どもの考えのズレ」や「さらに深めたいこと」、「一人一人にもう一度じっくり考えてほしいこと」などに焦点化して追加の発問をしてみよう？ そして、ペアやグループによる話し合いへ…。

